

2. 整備事業

(福島県 平成29年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー  (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績	事業内容  (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費  (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				被災前22年度	1年後(平成26年)	2年後(平成27年)	3年後(平成28年)	目標値(平成28年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
川内村	第6区アグリティー組合	水稲	新たに共同利用する乾燥調製施設を設置し、被災農家からの受託面積拡大による規模拡大により被災前の処理量以上に回復する。	処理量 102t	0t	127.2t	131.4t	処理量 150t	87.6%	平成28年においては、米の出荷量が131.4tとなっており、被災前以上に回復することができたが、目標の150tには届いていない。	78,243,840	37,305,000	24,248,000	0	16,690,840	H26.11.26	震災前以上の処理量に回復しているものの、農業者の高齢化や担い手不足のため、成果目標の約9割の達成となった。今後も、作付出来る農地の集積を図り目標達成に向け取り組んでいきたい。	目標の達成には至らなかったが、処理量は毎年増加しており、今後も農地集約が進むことで処理量が増加すると見込まれる。県としても目標が達成できるよう、助言及び指導を行っていく。		

(福島県 平成29年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー  (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績	事業内容  (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費  (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				被災前22年度	1年後(平成26年)	2年後(平成27年)	3年後(平成28年)	目標値(平成28年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
相馬市	農事組合法人日下石ファーム	水稲	乾燥調製施設を復旧するとともに規模拡大により被災前の処理量以上に回復する。	122.5 t	22 t	11 t	90 t	321.3 t	28.0%	水稲の生産量は90 tとなり、目標を達成できなかった。	耕種作物共同利用施設整備(乾燥調製施設) 乾燥調製施設上屋 1棟 荷受けホッパー 1台 乾燥機 2台 玄米貯蔵タンク 2台(増枠6枠含) 昇降機 1台 稲麴取機 1台 籾摺機 1台 米選機 2台 色選機 1台 フレコンスケール1台 米袋用吸引機 1台 ベルトコンベア1台 地盤強化工事 1式	33,969,240	15,726,000	10,221,000	0	8,022,240	H26.9.4	当初は水稲(主食用米)を作付けするつもりだったが、行政による飼料用米推進により、飼料用米に転換したため、目標達成率は28%と成果目標を達成することができなかった。今後は、高齢のため離れた農業者の農地集積を進め、主食用米の作付を増加させる。	本施設の整備により早期の水稲作付再開に寄与したが、飼料用米に作付けを転換した影響もあり、目標の達成には至らなかった。県としては、主食用米作付再開のための指導及び助言を行っていく。	

(福島県 平成29年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー  (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績	事業内容  (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費  (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				被災前2年度	1年後(平成26年)	2年後(平成27年)	3年後(平成28年)	目標値(平成28年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
				川俣町	有限会社川俣シャモファーム	肉用鶏(シャモ)	育雛舎の整備により年間育雛能力を増強することで、川俣シャモの年間出荷量を震災前水準以上に回復させる。	肉用向け出荷羽数 56,000羽 (育雛能力 52,100羽)	68,500羽				57,400羽	55,100羽	肉用向け出荷羽数 72,000羽 (育雛能力 72,000羽)	76.5% ※H26は95%				

(福島県 平成29年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				被災前22年度	1年後(平成26年)	2年後(平成27年)	3年後(平成28年)	目標値(平成28年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
西郷村	雪割牧場(有)	畜産	村内での良質たい肥の生産・流通促進	(平成25年度) 地域内農地への良質堆肥の還元 2,090t (自己耕作地2,000t、地域内耕種農家90t、滞留堆肥896t)	地域内農地への良質堆肥の還元 2,248t (自己耕作地2,100t、地域内耕種農家148t)	地域内農地への良質堆肥の還元 2,708t (自己耕作地2,100t、地域内耕種農家608t)	地域内農地への良質堆肥の還元 2,816t (自己耕作地2,100t、地域内耕種農家716t)	地域内農地への良質堆肥の還元 2,727t (自己耕作地1,827t、地域内耕種農家900t)	103.3%	村の耕種農家と耕畜連携の推進を図った結果、地域内耕種農家への流通が716tとなり被災前に比べ約8倍に、自己耕作地の還元については2,100tとなり被災前と同程度(105%)に回復、併せて滞留堆肥も解消され、成果目標を達成した。  農業系副産物循環利用体制再生・確立施設整備(家畜排せつ物等処理施設)堆肥化施設1棟(鉄骨造平屋建)633㎡ 【処理能力】家畜排せつ物13,249t/年堆肥生産量2,727t/年	44,378,280	20,545,000	13,354,000	0	10,479,280	27.3.31	西郷村耕畜連携推進協議会において、耕種農家及び畜産農家との更なる耕畜連携を進め、取組みを拡大していく。	目標は達成しており、今後は事業主体、村と一体となって、耕畜連携の取組強化を図る。		

都道府県平均達成率	73.9%	成果目標の達成状況は、4地区中、「達成」「概ね達成」が2地区で全体の50%に達したため、県全体で「未達」と評価する。 なお、「未達」地区については、早期の水稲作付再開に寄与したものの、飼料用米への品目転換の影響により未達となった地区については、主食用米作付再開のための指導・助言を行っていく。また、肉用鶏の大口取引先の閉店等による販路縮小の影響により未達となった地区については、新たな販路開拓等により回復傾向であることから、平成29年度は目標達成が見込まれる。
-----------	-------	---

- (注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。  
 2 要領第1の1の(2)のアの(ア)から(ウ)の場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。